

でっばりざかじょう
出張坂城跡

遺跡番号 平成8年度登録
調査回数 1次
所在地 鶴岡市大字下清水字水尻
北緯・東経 38度43分16秒・139度46分0秒
調査委託者 国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所
起因事業 国道7号鶴岡バイパス建設工事
調査面積 600㎡
現地調査 平成22年11月1日～11月30日
調査担当者 福岡和彦（現場責任者）
調査協力 鶴岡市教育委員会
遺跡種別 城館跡
時代 中世・近世
遺構 ^{くるわ}郭跡



遺跡位置図（1:25,000）

調査の概要

出張坂城跡は、森山から庄内平野に突き出た標高20～40mの丘陵上に築かれた平山城である。西麓を越後街道が走り、そこに「あら町」「そり町」「堀の内」「堀の外」という地名が残る。この城跡の南側にある山城の栗館と一体になって、^{しみず}妙味水城と総称された。昭和33年の国道7号の開削、昭和44年の鉄工団地の造成によって城のほとんどが消滅し、国道沿いの切り通しの上が現存する唯一の地表面遺構である。

この度、現在建設中の日本海沿岸東北自動車道に繋が

る国道7号鶴岡バイパスの拡幅工事に伴い、緊急発掘調査が行われることになった。22年度は城跡の構造や形状を調べるため、現在残っている地形の測量作業を行った。この調査をもとに、来年度継続して遺構精査などの詳しい発掘調査を実施する予定である。



調査区全景（北西から）